

子供たちへ、お手紙を書いてみませんか

ネパール(特に田舎の地方)には、手紙の文化があまり浸透していない為、手紙を貰っても戸惑ってしまったり、ましてやお返事を書くなどなかなかできない子供たちも多く居ます。

しかし手紙は私たちができる数少ないコミュニケーションツールのひとつであり、子供たちにとっても里親の状況を知ることができ交流を深めるきっかけとなります。

- 日本語でも、英語でもかまいません。日本語はスタッフが訳して渡します。英語だと子供たちの学習意欲の向上にもつながります。
- なるべく短く簡潔な文でまとめると読みやすく、伝わりやすい手紙になります。
- 子供たちが答えやすい質問を書いてあげると、お返事が書きやすくなります。
例：・学校は楽しいですか？ ・将来の夢は何ですか？
・家ではどんな仕事をしていますか？ など…
- こちらの様子が伝わる内容だと、子供たちも喜びます。
例：・私はお父さんとお母さんと旦那さんと2人の娘と一緒に暮らしています。
・私の家の庭には大きな柿の木があります。 など…
- 写真を入れると手紙よりも分かりやすいので子供たちも喜びます(里子カードと一緒に写った写真だと、より親近感が沸きます)
- 子供たちは手紙を書くことに慣れておらず、又、スタッフの滞在中に回収できないこともあるため、すぐにお返事を受け取れないことも多々ありますが、こちらからのお手紙は必ず渡しておりますので、お返事は気長にお待ちいただければと思います。

☆お手紙の用意がなかなかできない方、是非こちらのお手紙欄をご利用下さい。

~

より